

「放射線って見えるの？」～原子・簡易霧箱～

先生： 放射線というと何を連想しますか？

生徒： 危険、こわい。えーと‥‥でも、日本では発電に用いてる。

先生： そうだね。人間って、見えないものには、何となく恐怖を感じるからね。でも、自然放射線といって、私たちのまわりにもあるんだよ。

ところで、放射線には、 α 線、 β 線等があるけど違いを覚えてるかな？

生徒： 確か‥‥図のような‥‥

先生： そう、 α 線は近くではこわいけど、ほんの数cm離れただけで人体への影響を考えなくともいい。今日は、この α 線を見てみよう。

生徒： 本当ですか？だって、 α 線は、ヘリウムの原子核で、顕微鏡でも見えないくらいに小さいと思いますが‥‥

ぜひ見たいと思います。

放射線の物質透過性

α 線：水中で数 μm 、空中で数cm

β 線：水中で数mm、空中で数m

γ 線：ほとんど透過、重コンクリートやPbで防ぐ

1 簡易霧箱の製作

[準備物]

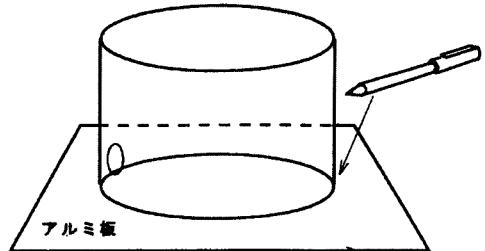
プラスチック容器、アルミ板（片面につや消しスプレーを塗布したもの）、マーカーペン
すき間パット、アルミ接着テープ、ゴム栓、注射器（針付き）、ピアノ線、はさみ

(1) アルミ底ふたの作り方

① 底蓋用のアルミ板を黒色塗装面を裏側にして置く。

② アルミ板の上に開口面を下にして容器をのせ、マーカーペンを用いてアルミ板に容器の外側に沿って円を描く。

③ はさみでアルミ板を切り抜き、円板を作る。



(2) すき間パットの取付

① 容器の内側にぴたりとはまる長さにすき間パットを切る。このとき、接着面保護紙をはがすとはめ込むのが難しいので、保護紙は、はがさない。

② 容器の縁に沿ってすき間パットをはめ込む。

